

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成27年11月13日
【四半期会計期間】	第70期第2四半期（自平成27年7月1日至平成27年9月30日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 古川 雅一
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6453 - 4511
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第69期 第2四半期 連結累計期間	第70期 第2四半期 連結累計期間	第69期
会計期間	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
売上高 (千円)	4,136,443	4,064,496	8,219,812
経常利益 (千円)	471,613	371,200	912,732
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	296,790	237,223	537,651
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	356,620	193,284	698,310
純資産額 (千円)	12,583,589	13,019,376	12,876,986
総資産額 (千円)	16,394,363	16,587,641	16,698,638
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	31.10	24.86	56.34
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	74.8	76.5	75.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	301,917	209,375	688,544
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	169,137	775,815	137,904
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	100,101	98,457	196,830
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	2,406,224	1,724,184	2,389,081

回次	第69期 第2四半期 連結会計期間	第70期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	16.67	15.93

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油安や政府の経済政策を背景として企業収益が改善し、雇用環境も回復基調にありましたが、円安による物価上昇や中国経済の減速による影響が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況のまま推移しました。

このような環境のもと、当社グループは環境対応型塗料や高機能性塗料の充実により、自動車補修用塗料の販路拡大に向けた積極的な営業活動を展開する一方、大型車両や工業用などの新規市場開拓や建築用塗料の受注増加に取り組みました。

しかしながら、厳しい市場環境により、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、40億64百万円（前年同四半期比1.7%減少）となりました。また、利益面につきましては、営業利益は3億5百万円（前年同四半期比24.8%減少）、経常利益は3億71百万円（前年同四半期比21.3%減少）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億37百万円（前年同四半期比20.1%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

塗料事業

売上高は40億14百万円（前年同四半期比1.8%減少）、営業利益は2億84百万円（前年同四半期比26.4%減少）であります。

その他

売上高は51百万円（前年同四半期比0.2%増加）、営業利益は21百万円（前年同四半期比6.7%増加）であります。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産は1億11百万円減少、負債は2億53百万円の減少、純資産は1億42百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、長期預金10億円、投資有価証券2億23百万円、有価証券2億円、減少の主なものは現金及び預金13億55百万円であります。

負債の減少の主なものは、支払手形及び買掛金68百万円であります。

また、純資産の増加の主な要因は、利益剰余金1億90百万円となっております。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6億65百万円減少し、17億24百万円(前年同四半期末24億6百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、2億9百万円（前年同四半期3億2百万円）となりました。

その主な要因は、増加した資金では税金等調整前四半期純利益3億71百万円、減少した資金では法人税等の支払額1億50百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、7億76百万円（前年同四半期1億69百万円増加）となりました。

その主な要因は、増加した資金では定期預金の払戻12億70百万円、有価証券の売却及び償還4億円、投資有価証券の売却及び償還3億円、減少した資金では定期預金の預入15億80百万円、投資有価証券の取得7億1百万円、有価証券の取得5億円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、98百万円（前年同四半期1億円）となりました。

その主な要因は、配当金の支払額48百万円などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、76百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成27年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,000,000	12,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】
 該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】
 該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日		12,000,000		1,290,400		1,209,925

(6) 【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
北村初美	大阪市福島区	2,216	18.46
北村健	大阪市福島区	2,211	18.42
イサム塗料栄勇会	大阪市福島区鷺洲2-15-24	1,155	9.63
第一生命保険株式会社 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区有楽町1-13-1 (東京都中央区晴海1-8-12)	467	3.89
長瀬産業株式会社	東京都中央区日本橋小舟町5-1	180	1.50
イサム塗料従業員持株会	大阪市福島区鷺洲2-15-24	175	1.46
石原産業株式会社	大阪市西区江戸堀1-3-15	120	1.00
株式会社ダイセル	大阪市北区大深町3-1	108	0.90
日立化成株式会社	東京都千代田区丸の内1-9-2	73	0.60
INTERACTIVE BROKERS LLC (常任代理人 インタラクティ ブ・ブローカーズ証券株式会 社)	One Pickwick Plaza, Greenwich, CT 06830 USA (東京都中央区日本橋茅場町3-2-10)	71	0.59
計	-	6,776	56.46

(注) 1. イサム塗料栄勇会は取引先を対象とした持株会であります。
 2. 上記のほか、当社所有の自己株式が2,459千株あります。

(7)【議決権の状況】
 【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,459,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,435,000	9,435	-
単元未満株式	普通株式 106,000	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,435	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が247株含まれております。

【自己株式等】

平成27年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号	2,459,000	-	2,459,000	20.49
計	-	2,459,000	-	2,459,000	20.49

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,319,081	2,964,184
受取手形及び売掛金	2,593,914	2,569,018
有価証券	1,000,702	1,200,896
商品及び製品	934,997	935,173
仕掛品	133,359	128,599
原材料及び貯蔵品	190,802	189,819
繰延税金資産	88,436	89,961
その他	69,785	38,681
貸倒引当金	20,061	18,611
流動資産合計	9,311,015	8,097,720
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,692,643	2,697,508
減価償却累計額	1,413,819	1,452,488
建物及び構築物(純額)	1,278,824	1,245,020
機械及び装置	399,636	401,836
減価償却累計額	330,172	340,099
機械及び装置(純額)	69,464	61,737
工具、器具及び備品	386,695	396,155
減価償却累計額	349,733	357,315
工具、器具及び備品(純額)	36,962	38,840
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	35,843	41,717
減価償却累計額	7,920	10,824
リース資産(純額)	27,923	30,893
有形固定資産合計	2,757,640	2,720,957
無形固定資産		
ソフトウェア	32,547	22,012
施設利用権	4,129	3,741
電話加入権	6,555	6,555
リース資産	28,296	12,022
無形固定資産合計	71,527	44,330
投資その他の資産		
投資有価証券	3,213,183	3,435,922
長期預金	500,000	1,500,000
保険積立金	746,345	695,345
繰延税金資産	76,521	71,904
その他	34,380	35,250
貸倒引当金	11,973	13,787
投資その他の資産合計	4,558,456	5,724,634
固定資産合計	7,387,623	8,489,921
資産合計	16,698,638	16,587,641

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,778,853	1,710,828
1年内返済予定の長期借入金	52,000	52,000
リース債務	25,595	10,116
未払金	151,859	134,758
未払法人税等	148,539	123,019
未払消費税等	95,739	36,470
前受金	4,167	7,628
預り金	56,875	56,258
賞与引当金	118,439	118,230
その他	45,345	45,361
流動負債合計	2,477,411	2,294,668
固定負債		
長期借入金	293,000	267,000
長期預り保証金	257,482	258,539
リース債務	34,747	36,338
繰延税金負債	31,334	14,229
役員退職慰労引当金	138,457	139,343
修繕引当金	52,500	56,250
退職給付に係る負債	488,664	462,841
負ののれん	40,503	34,716
金利スワップ	7,554	4,341
固定負債合計	1,344,241	1,273,597
負債合計	3,821,652	3,568,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,209,925
利益剰余金	10,739,874	10,929,387
自己株式	975,739	976,465
株主資本合計	12,264,460	12,453,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291,854	239,995
繰延ヘッジ損益	2,401	1,380
その他の包括利益累計額合計	289,453	238,615
非支配株主持分	323,073	327,514
純資産合計	12,876,986	13,019,376
負債純資産合計	16,698,638	16,587,641

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,136,443	4,064,496
売上原価	2,797,755	2,793,866
売上総利益	1,338,688	1,270,630
販売費及び一般管理費	933,578	966,062
営業利益	405,110	304,568
営業外収益		
受取利息	2,488	2,624
有価証券利息	14,597	8,651
受取配当金	7,127	8,463
受取賃貸料	27,613	26,558
塗装情報サービス会費	12,863	12,935
生命保険満期差益	15,575	3,691
負ののれん償却額	5,786	5,786
貸倒引当金戻入額	-	1,450
その他	7,650	6,306
営業外収益合計	93,699	76,464
営業外費用		
支払利息	6,529	5,588
支払補償費	65	348
たな卸資産廃棄損	11,267	-
貸倒引当金繰入額	8,224	1,876
その他	1,111	2,020
営業外費用合計	27,196	9,832
経常利益	471,613	371,200
特別損失		
固定資産除却損	174	-
特別損失合計	174	-
税金等調整前四半期純利益	471,439	371,200
法人税、住民税及び事業税	171,914	121,027
法人税等調整額	1,937	7,127
法人税等合計	169,977	128,154
四半期純利益	301,462	243,046
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,672	5,823
親会社株主に帰属する四半期純利益	296,790	237,223

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	301,462	243,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,021	51,871
繰延ヘッジ損益	2,137	2,109
その他の包括利益合計	55,158	49,762
四半期包括利益	356,620	193,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	350,827	186,384
非支配株主に係る四半期包括利益	5,793	6,900

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	471,439	371,200
減価償却費	99,039	87,938
負ののれん償却額	5,786	5,786
賞与引当金の増減額(は減少)	10,239	209
修繕引当金の増減額(は減少)	3,750	3,750
貸倒引当金の増減額(は減少)	8,868	364
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	10,589	886
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	31,500	25,823
受取利息及び受取配当金	24,213	19,737
支払利息	6,529	5,588
固定資産除却損	174	-
売上債権の増減額(は増加)	39,454	24,896
たな卸資産の増減額(は増加)	23,391	5,567
仕入債務の増減額(は減少)	16,053	68,025
未払金の増減額(は減少)	89,816	17,203
未払消費税等の増減額(は減少)	69,711	59,269
その他	128,219	31,090
小計	479,702	335,227
利息及び配当金の受取額	21,021	29,469
利息の支払額	6,567	5,713
法人税等の支払額	192,239	149,608
営業活動によるキャッシュ・フロー	301,917	209,375
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	300,000	1,580,000
定期預金の払戻による収入	100,000	1,270,000
有価証券の取得による支出	-	500,000
有価証券の売却及び償還による収入	300,000	400,000
有形固定資産の取得による支出	663	16,885
無形固定資産の取得による支出	630	-
投資有価証券の取得による支出	602	700,597
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	300,000
保険積立金の積立による支出	33,721	30,309
保険積立金の払戻による収入	104,425	81,309
その他	328	667
投資活動によるキャッシュ・フロー	169,137	775,815
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	26,000	26,000
自己株式の純増減額(は増加)	361	726
リース債務の返済による支出	23,662	21,664
配当金の支払額	47,619	47,608
非支配株主への配当金の支払額	2,459	2,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	100,101	98,457
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	370,953	664,897
現金及び現金同等物の期首残高	2,035,271	2,389,081
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,406,224	1,724,184

【注記事項】

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58 - 2項(4)、連結会計基準第44 - 5項(4)及び事業分離等会計基準第57 - 4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
従業員給料	271,789千円	256,598千円
賞与及び賞与引当金繰入額	82,402千円	73,331千円
役員退職慰労引当金繰入額	10,590千円	10,732千円
貸倒引当金繰入額	644千円	- 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
現金及び預金勘定	4,866,224千円	2,964,184千円
預入期間が3か月を超える定期預金	2,460,000千円	1,240,000千円
現金及び現金同等物	2,406,224千円	1,724,184千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	47,719	5	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年11月13日 取締役会	普通株式	47,715	5	平成26年9月30日	平成26年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	47,710	5	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年11月9日 取締役会	普通株式	47,704	5	平成27年9月30日	平成27年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	4,085,572	50,871	4,136,443	-	4,136,443
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,085,572	50,871	4,136,443	-	4,136,443
セグメント利益	385,628	19,482	405,110	-	405,110

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	4,013,531	50,965	4,064,496	-	4,064,496
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,013,531	50,965	4,064,496	-	4,064,496
セグメント利益	283,787	20,781	304,568	-	304,568

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	31.10円	24.86円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	296,790	237,223
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	296,790	237,223
普通株式の期中平均株式数(株)	9,543,403	9,541,392

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第70期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）中間配当については、平成27年11月9日開催の取締役会において、平成27年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額.....47,704千円

1株当たりの金額.....5円

支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成27年12月10日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月4日

イサム塗料株式会社

取締役会 御中

清稜監査法人

代表社員 公認会計士 田中 伸郎 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 加賀谷 剛 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しています。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。